

夏の思い出 少年少女つどい大会

八月十四日・十五日の両日、公民館と町体育館を会場に、町内の少年少女つどい大会が開かれました。

各小学校から児童六十四名が参加し、ゲームや歌で楽しい二日間を過ごしました。

特に十四日の夜の自由時間は食べたり、他の地区のお友達とおしゃべりをしたり、とても楽しいひとときを過ごしました。つどい大会で体験した子どもたちの感想を紹介します。

(敬称略)



日吉小6年
土屋奈美子

私は、このつどい大会に参加してとてもよかったです。自分のクラスの人に今日のことを話したら、「私も行きたかった」「参加すればよかった」と言う声があつたと思う。ゲームをした時の楽しさ、みんなと自由時間のあそび……。私は、初めてあつた人たちに

声をかけるのが嬉しかった。

初めてあつた人にも、気軽に話せる友達がうらやましいと思つた。でも、私はこのつどい大会に参加して、初めてあう人達とも気楽に話せるようになった。どうしてだか自分でもわからない。友達という友達はできなかったけど、気軽に声をかけたり、電話番号も聞くことができた。つどい大会に参加して、本当によかつたと思う。



南条小6年
深田 広子

朝起きたら、ほかの学校の人とお友達になれるか、少し不安だつた。

光町公民館に行くと、ほかの学校のお友達がいた。ゲームやきょうそうをしてもらううちに友達になつた。とてもうれしかった。夜、何人か的人是わいで起きていた。いろんな話をしていた。その時が一番おもしろかつた。

た。

十五日、またまたゲーム……得点をつけていた。私は三班だつた。私達の班は55点で5位だつた。

ビリはバツゲームがあるのでビリじゃなくてよかつたと思う。こんなにお友達ができるとは思わなかつた。また、こんな集まりがあるといいなあ……と思つていました。



東陽小6年
山崎美千代

私は、八月十四日・十五日、少年少女つどい大会に参加しました。

受け付けに行くと、班の人の名前や、予定などが書いてある紙をもらいました。

見てみると、知っている人は男しかいませんでした。みんな「やだなあ、知ってる人がいないヨネー」と、さわいでした。

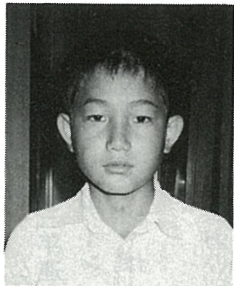
かいかい式も終わり、役場の見学を終えた後、楽しみにしていたゲームをやりました。走つたりして、とてもつかれました。午後の九時まで、ゲームや班別のかそう大会をしました。

私は、スケバンの役をやりました。

夜は、あんまりよくねむれませんでした。

十六日も又続きのゲームをやつて、昼食を食べてかいさんになりました。

私は、この少年少女つどい大会に参加して、とてもよかつたと思つていました。友だちもたくさんできたし、いろいろなゲームも覚えられました。とても、よかつたです。



白浜小6年
平野 朝明

ぼくは、班対抗のゲームで一日目は一番になりました。

その夜、ぼくと同じ班の人が「明日もきつと二位になろうね」と何回も言っていました。

次の日……班対抗のゲームをやつて、ぼくはとてもショックでした。ぼくたちは一位からいつきにラストになつてしまいました。ぼくたちの班九人はバツゲームとして、「しりもじ」を書くことになりました。「ぼくたちねくらぞく」と書きました。とてもはずかしかつたです。でも、とても楽しいつどい大会でした。

ボランティアで 海岸清掃10年……

七月三十一日、光樂園老人ホームのお年寄りと横芝ロータリークラブの方がたによる、海岸清掃が行われました。

ごみ袋で拾う人、熊手でごみを寄せる人、一輪車を押す人、それぞれの人が汗だくでがんばってくれました。

海水浴に来ていた人も、「皆さんのご好意できれいになりました。私達も自分のごみは自分で片づけます」と感謝の気持ちでいっぱいの様子。暑い中での奉仕作業、ありがとうございました。



ビニール袋を片手に海岸清掃
(木戸浜)